

■複合施設の評価例

<p>基本コンセプト</p>	<p>土佐の風土と文化創造発信拠点（新文化のインキュベート・情報発信・産学官連携）</p>	
<p>導入機能</p>	<p>複合施設</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">交流広場兼避難場所</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">よさこい会館</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">複合ミニシアター</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小規模イベントホール</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サテライトスタジオ</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">メディアセンター</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">子育て支援施設</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">総合窓口サービス</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まち歩き観光センター</div> </div> <p>それぞれの機能を曜日や時間帯によって入れ換え、スペースをシェアすることで、多用途に対応できる小規模施設を前提とする</p>	
<p>ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・商業者 ・観光客 	<p>■市民：気軽に利用できる憩い空間として「交流広場」、買い物以外で楽しめる施設としての「複合ミニシアター」「メディアセンター」</p> <p>■商業者：来街者の滞留ポイントとなる「交流広場」、観光客を集客し商店街への回遊が期待できる「よさこい会館」「まち歩き観光センター」、働く女性を支援する「子育て支援施設」</p>	<p>■観光客：通年でよさこいが楽しめる「よさこい会館」、観光のハブ機能としての「まち歩き観光センター」</p>
<p>まちの魅力度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観 ・歴史 	<p>■誰もが気軽に利用できる「交流広場」は憩い空間としてだけではなくイベントにも利用できる。</p> <p>■観光客へ高知の文化・歴史・街なかを案内する「よさこい会館」「まち歩き観光センター」</p>	<p>■市民・観光客共に利用できる「メディアセンター」、中心市街地の情報を発信する「サテライトスタジオ」</p> <p>■市民の生活や街利用の利便性を高める「子育て支援施設」「総合窓口サービス」</p>
<p>中心市街地活性化への寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい ・観光客数増 ・歩行者通行量増 ・回遊性向上 	<p>■観光客の案内拠点として観光客数増と回遊性向上が見込まれる</p> <p>■「交流広場」を活用したイベントは来街者増加によるにぎわいの創出・歩行者通行量増が見込まれる。また、憩い空間として滞在時間の延長を促す。</p> <p>■「子育て支援施設」による利便性の向上により来街のきっかけを創出する。</p>	
<p>経済性（コスト）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イニシャルコスト [イ] ・ランニングコスト [ラ] 	<p>■ [イ]：建築物の整備は相応のコストが必要となるが、機能それぞれが独立した造りとせず、共用できるように整備することでコスト縮減を図る。</p>	<p>■ [ラ]：人員の確保や機器・情報の管理・更新が必要な「よさこい会館」「まち歩き観光センター」「子育て支援施設」は高く、「交流広場」はやや安い。</p>
<p>経済性（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済波及効果 	<p>■施設単体ではペイできないが、来街者数増加・回遊性向上、街の利便性向上により周辺の商店街等に波及効果が見込まれる。</p> <p>■「よさこい会館」は、県外観光客の入り込み増や宿泊増につながる。</p>	<p>■「複合ミニシアター」や「小規模イベントホール」の整備により、様々な活動が活発に行われ、中心市街地での経済活動を促進する。</p>
<p>新規性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内既存施設との棲み分け（重複の有無） 	<p>■「よさこい会館」「まち歩き観光センター」は観光客をターゲットに、中心市街地の歴史・文化・街歩きに特化し、よりきめこまやかなサービスを提供することで高知駅前にある高知情報館「とさてらす」との棲み分けは可能。</p> <p>■「メディアセンター」「サテライトスタジオ」「子育て支援施設」「総合窓口サービス」は、近辺に存在せず、競合しない。</p>	<p>■「交流広場」は、現在、気軽に利用できる一定規模の憩い空間がないため、競合しない。</p>
<p>まちづくりの継続性</p>	<p>■「よさこい会館」「まち歩き観光センター」は観光案内拠点として需要もあることから、継続性が見込まれる。</p> <p>■「交流広場」は、平時・イベント時など常に利用用途が見込まれ中心市街地の活性化に継続的に寄与できる。</p>	<p>■「総合窓口サービス」「子育て支援施設」は、今後のコンパクトシティを考慮すると街中には必要な機能である。</p>
<p>総合評価</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>	